

津波発生



平成23年東日本大震災 岩手県宮古市を襲う津波

南海トラフ巨大地震の発生後、沼津市の沿岸部には、約3～10分で津波が襲来するため、「ためらわずに逃げる」ことが身を守るための最善策となります。突発的な地震が発生した場合は、直ちに津波避難ビルや高台をはじめ、少しでも高いところに避難しましょう。

また、東海地震警戒宣言が発令された場合には、時間的に余裕があるため、沿岸から離れた、より安全な避難地等に逃げましょう。

逃げる「少しでも早く、少しでも高く」

いつ

津波発生が予測される時、直ちに逃げましょう！

1 突発地震が発生した場合

強い揺れを感じた

約3～10分後に津波が到達する恐れ

津波警報・大津波警報の発令

津波注意報の発令

一口メモ

○津波てんでんこ

古くから何度も津波に襲われてきた岩手県三陸地方で語り継がれてきたこの言葉は、津波からは「てんでばらばらでも、一目散に逃げる」という意味があり、東日本大震災でもこの教訓が活かされました。

2 東海地震が予知できた場合

東海地震警戒宣言の発令

「2～3日以内(または数時間以内)に東海地震が発生し、震度6弱以上の強い揺れに襲われる」という警告です。また、地震に伴い津波の発生が想定されます。

避難地など

津波の危険がある地域のみなさんや、自宅等の耐震性が心配な方は、強い揺れと津波への対応が必要です。沿岸から離れたより安全な避難地などに避難しましょう。

➡ 避難地は裏表紙や津波ハザードマップ(全市版)に掲載しています。

どこへ

津波ハザードマップで確認しましょう！

※現在の津波ハザードマップは、静岡県第4次地震被害想定を基にしています。

津波避難ビル

津波避難訓練対象区域内に立地する約200棟の建物を津波避難ビルとして指定し、津波ハザードマップに掲載しています。

津波避難ビルは、原則として以下の条件を満たしています。

- RC造(鉄筋コンクリート造)もしくはSRC造(鉄骨鉄筋コンクリート造)
- 1981年以降の建築基準法に適合
- 3階建て以上(想定津波高により、一部異なります)

津波避難ビルは今後も追加指定していきます。ビル所有者のみなさんまはご協力をお願いいたします。



津波避難ビル(第四地区センター)

津波避難ビル標識



津波避難路 ➡ 高台へ

香貫地区以南の各地区に、高台への津波避難路を186路線指定し、津波ハザードマップに掲載しています。津波避難路には、避難の目安となる海拔も表示されていますので、実際に歩いて、避難ルートや所要時間を確認しましょう。

津波避難路は平時からの維持管理が重要となるため、自主防災組織を中心に除草作業などの定期的な維持管理に努め、いざという時に利用できるようにしておきましょう。



津波避難路(ららサンビーチ付近、西浦平沢)

海拔表示看板



避難のポイント

- 1 少しでも早く、少しでも高く ➡ 津波からは遠くではなく、高い場所に避難しましょう。津波避難ビルや高台が周囲に無い場合でも、少しでも高い場所を探して、直ちに逃げましょう。
- 2 我が身の安全が最優先 ➡ 普段から家族等で避難方法や避難場所を決めておきましょう。いざという時は、まず我が身の安全を最優先に避難しましょう。
- 3 海と逆方向へ逃げる ➡ 海から離れるのが鉄則です。津波が川をさかのぼる可能性もあるため、河川からも離れましょう。
- 4 車による避難は原則禁止 ➡ 渋滞を招くばかりか、徒歩での避難者を阻害する恐れがあります。